

# 平成29年度 事業計画書

自 平成29年4月1日  
至 平成30年3月31日

公益財団法人 平群町地域振興センター

## 目次

### 事業計画書

〈基本方針〉

#### I スポーツを通じて平群町民の健康増進の普及及び健康づくりを促進する事業（公益目的事業1）

##### 1 事業計画

- 1) 健康サポート・地域コミュニティ支援事業（コミュニケーション）
- 2) 子ども体力向上事業（発育スキルアップ）
- 3) 健康体力づくり事業（健康保持増進）
- 4) 元気 UP 高齢者事業（健康保持増進）

##### 2 町有施設（体育/公園体育施設）指定管理事業

#### II 地域文化の振興を促進する事業（公益目的事業2）

##### 1 事業計画

#### III 農業の健全な発展及び地域資源の合理的な利用を推進する事業（公益目的事業3）

##### 1 事業計画

- 2 町有施設（活性化センター）指定管理及び道の駅施設受託管理事業

#### IV スポーツ施設及び農業発展施設並びに地域資源の合理的な利用促進施設を管理運営するために生じる関連物品の販売（収益等事業1）

- ・その他

### 収支予算書

## 〈基本方針〉

平群町地域振興センターは、平成5年設立当初より寄附行為(※定款)第3条(目的)並びに第4条(事業)の規程に基づき事業活動を行い、設立24年目を迎える。平成25年4月に「公益財団法人」へ移行後、より一層地域に根ざした公益性、公共性を発揮していくという明確な活動理念及び目的のもと運営を行う。あわせて、平群町と連携し地域住民や各団体と相互補助の関係を築き「地域づくり」、「地域貢献」、「地域還元」に積極的に振興事業を展開する。

町有施設の管理においては「指定管理者」として3期目(12年目)の最終年度を迎え、町より受けている管理権限の委任や公共性を最大限に発揮し、地域が求める住民サービスの向上に一層の充実を図り、各施設の設置目的にあった管理運営を行う。

体育施設、公園体育施設及び公園施設の管理運營業務は、「平群町」の地域社会における文化及び体育活動の意識向上と基盤整備した振興事業を行い、更なる平群町民の生活・健康・文化的水準の向上を目指す。また、既存の文化、体育施設を拠点としながらその機能を十分に生かした多角的且つ合理的な利用方法の構築・追及を行う。そして、円熟化社会を迎え、複雑化、高度化、多様化する利用者及び行政からのニーズを的確に捉え、それらを柔軟・迅速に対応する。

活性化センター運營業務は、生産者と地域住民が地域農業についての共通理解を深め、農産物の消費拡大と地域農業の情報発信の拠点、また、全ての利用者に平等の利用を提供し、様々な人々が集まり“笑顔が溢れる地域振興の拠点”を目指して、施設の役割や利用状況に即した施設のあり方を考え、公の施設の効果的な管理運営を定めるため、これまでの管理運営実績を踏まえ、ノウハウを最大限に発揮していく。

## I スポーツを通じて平群町民の健康増進の普及及び健康づくりを促進する事業（公益目的事業1）

### 1 事業計画

総合スポーツセンターが、地域住民のライフスタイルの中で様々な活動拠点となり、「健康サポート・地域コミュニティ支援事業」、「子ども体力向上事業」、「健康体力づくり事業」、「元気UP 高齢者事業」の4部門を自主事業の基幹部門として、それぞれの参加者を支援する。これまでの実績をもとに地域の子どもから高齢者まで、幅広い世代に運動参加やその他の目的でスポーツセンターを有効利用してもらえるように、多岐にわたるプログラムや事業を計画して参加者の増加につなげ、振興事業の拡充を図ることを目的に開催する。また、振興センターの自主新規事業の充実を図るとともに、平群町スポーツ振興の施策の一つである総合型地域スポーツクラブ「くまがしクラブ」と協力したスポーツ振興事業等に注力し、健康づくりを推進する。

#### 1) 地域住民や利用者ニーズの把握及びそれに伴う事業展開と業務の実施

利用者ニーズを正確に把握するため、ひとつでも多く要望を受け取る体制を構築するとともに、

収集した情報の分析・検討を行い、あらゆる角度から実現の可能性を模索し事業展開を行う。

## 2) スポーツ・健康づくり活動ができる仕組みの構築

総合スポーツセンターが、運動・スポーツ・健康づくりの拠点となり、スポーツを通じた交流の環境づくりに努め、地域でもスポーツ・健康づくり活動ができる仕組みを構築し、地域の公共団体・運動クラブと連携しながら、全ての地域住民や利用者を明るく元気にする共催事業展開を図る。

## 3) 効率・効果的な事業運営の推進

これまでに蓄積した経験とノウハウを活用することにより、機動的かつ柔軟なサービスを提供し、公共施設の指定管理者として、地域性を活かした効率・効果的な事業運営を行う。

## 4) 安全・安心・快適な施設空間の創出

交流の場として、利用者とのコミュニケーションを図り、子どもや高齢者をはじめ誰もが安全で安心して利用できる施設環境整備を行う。

## 5) お客様本位の視点にたったサービスの提供

お子様から高齢者の方々まですべての利用者の皆様を平等に、感謝の気持ちを込めてお客様の立場にたった心のこもったサービスの提供を行う。

## 6) 地球にやさしい施設管理

利用者自身の環境などへの社会的責任意識（エコ等）の高まりをサポートする取り組みの企画・実施する。

### 〔施設の現状に対する認識及び今後の在り方〕

町内の体育施設は、平群町総合スポーツセンター（体育館、グラウンド、テニスコート、ウォーターパーク、トレーニング室、会議室）、平群健民運動場、梨本ゲートボール場、福貴テニスコート、平群中央公園（多目的、サブグラウンド・テニスコート・ゲートボール場）、平群北公園テニスコート、また大規模な公園施設として中央公園、北公園があり県下でも有数の施設が整備され、長年にわたり地域住民や町外、県外からの多くの利用者に愛され利用されている。また、平成 27 年 4 月から隣接する生駒市と平群町と公共施設相互利用が本格的に開始され、徐々に周知されている。（※ウォーターパークは平成 22 年に相互利用開始）利用者増加に期待する一方、施設の消耗については懸念するところである。

今後も引き続きすべての利用者に愛着を持って利用していただける環境づくりとして、美観整備を大切に安全で安心して楽しく利用していただけるよう努める。しかし、ほとんどすべての施設の老朽化が進んでおり、平群町と一体となった改修計画策定が継続的且つ緊急的な課題と考える。体育施設、公園体育施設及び公園施設ひいては“へぐり”を地域住民と共同して素晴らしいまちづくりを目指す。

## 1) 健康サポート・地域コミュニティ支援事業（コミュニケーション）

スポーツセンターを基本拠点とし、「トレーニング室運営の充実」をより一層図るため「健康体力総合事業」と位置づけ、既存の機器を有効に使用し、幅広い年齢層の利用者を対象にトレ

ーニング・運動指導のサービス提供を行う。また、スポーツセンターだけに捉われず、地域で活動しているスポーツ団体や町内の学校、体育協会、文化協会、長寿会等の団体にも、コミュニティの強化・強固な関係づくり、健康づくりや健康向上を目的とした運動講師派遣、支援の実施、平群町行政の健康増進事業協力のひとつとして地域住民の健康サポートを行う。高齢化が進んでいる平群町において、「健康長寿県内一」ということが町の大きなテーマとなっていることから、振興センターとしては健康運動教室を積極的に開催し、きめの細かい対応をしていく。講師派遣事業は、平群町・平群町近隣町・自治会・長寿会・平群町社会福祉協議会・小地域ネットワーク・体育協会のクラブ等から依頼を受け、広く町民や地域住民の健康増進を図る。今後も新たなコミュニティ形成の補助や既存のコミュニティに対して関係性の強化を目指し、より地域に密着した活動を行う。

#### クラブ・地域

(総合型地域スポーツクラブ「くまがしクラブ」運営・地域団体との共催事業の拡大)

全国・奈良県内で設立されている地域スポーツの拠点となる「総合型地域スポーツクラブ」(くまがしクラブ)と協働し事業を実施する。また、地域の公共的団体・運動クラブと連携しながら共催事業を実施する。

事業名		目的・内容	実施時期
健康 体 力 総 合 事 業	トレーニング講習会 (オリエンテーション)	トレーニングに関する知識と、施設利用に関する説明、マシンの使い方をレクチャーし、登録証を発行する。	随時
	アプローチ、プログラミング、カウンセリング	トレーニング室内に従業員を常時配置し、利用者が効率良くトレーニング出来るようにサポートする。	毎日
	トレーニング室プログラム	トレーニング室利用者向けに各種プログラムを展開する。	月1回
	健康チェック	健康保険課と共同し、血管年齢測定等を実施し、トレーニング室利用者の定期的な運動効果等を診断する。	年3回
	健康セミナー	管理栄養士やスポーツトレーナー等の講師を招いて、食事と運動やけが予防のための講義を開催する。	年2回
ニュースポーツ普及事業	ニュースポーツの体験を、実戦ゲーム形式にて実施する。地域自治会や「くまがしクラブ」とタイアップして普及推進を行う。	年3回	

運動講師派遣事業 (スポセン健康宅配便)	平群町及び地域住民・団体より健康増進を目的とした運動講座等の依頼に従業員を講師派遣し、運動指導を行う。	通年
ラジオ体操会	地域住民の健康の保持・増進を目的に、総合スポーツセンターグラウンドを会場とし、従業員がインストラクターとなり、オリジナルのコーディネーションやストレッチ体操を行う。	8月
くまがしフェスタ	くまがしクラブを主体に、体育協会や他の団体と協力しながらイベントを開催する。	11月
ふれあいマラソン大会	教委、スポーツ推進委員会、体育協会と共に実行委員会を形成し、町内に3つのコースを設けマラソン大会を実施する。	3月
キッズフェスタ	未就園児と親子対象の運動遊びの内容で開催される「子育て支援センター」事業の協力を行う。	6月
	奈良県フットサル連盟協力により、地域住民がファミリーで参加できる「ファミリーフットサル大会」を開催する。	3月
	運動やスポーツに関心を持ってもらうことを目的に、生駒市体育協会所属生駒少年ラグビースクール協力により、「ラグビー交流イベント」を開催する。	9月
キッズガーデニング	管理施設である平群中央公園において、地域密着を目指し、町内こども園の園児と従業員が一緒に植栽や軽度の手入れなどの作業を通じて、公園を身近に感じてもらう取り組みを行う。	6月
地域クラブ支援事業 (スポセン健康サポート事業)	平群町体育協会とかんぼの宿大和へぐりの協力で「グラウンドゴルフ大会」を開催する。	6月
	地域クラブや町民の交流を目的に、バンビシャス奈良や奈良クラブ等の協力による「平群スポーツフェスティバル」を開催する。	7月
	くまがしクラブと協力で、「ノルディックウォーキング交流会」を開催する。	10月

・かんぼの宿大和へぐり・信貴山観光ホテルとの共同事業

かんぼの宿大和へぐり及び信貴山観光ホテルと連携し「合宿プラン」を展開する。内容は、町外のスポーツクラブ・有志のサークル等の団体に、かんぼの宿大和へぐり又は信貴山観光ホテル

ルと体育施設や公園体育施設を合わせて利用していただくと、体育施設並びに公園体育施設利用料金を町内料金適用（かんぼの宿大和へぐりのみ）と事前施設予約を受付を行う。

## 2) 子ども体力向上事業（発育スキルアップ）

平群町総合計画において「緑豊かで心豊かな 子どもの歓声が聞こえるまち」が掲げられている。この少子高齢化時代において、子どものからだの成長は変化の時代をむかえ、からだは大きく成長するが運動能力の低下は著しい。奈良県小中学生においては、文部科学省の全国運動能力・体力テストにおいて全国最下位に近い状態であり、抜本的な対策と改善が期待されている。このような状況下において、振興センターでは早くから、子どもの基礎体力向上のための体育振興事業の展開を実施し、町内こども園の園児たちへの運動指導、健やかで元気な身体づくりを行い、より健やかに成長してもらえるように、ジュニア期の運動教室を展開しながら平群町の子どもの体力向上を目指す。

### 子どもの成長にあわせた運動プログラム計画（キッズ・ゴールドンエイジ）

キッズエイジ（U-6）には、将来の運動能力を左右する基礎運動能力（からだづくり）を高め、成長期に備えていくこと、特にからだの成長にあわせた運動の種目と内容を選定することが大切であり、「走る」・「跳ぶ」・「投げる」・「蹴る」等の基本動作をこの期間にからだを動かして身に付けさせていく。小学校（ゴールドンエイジ時代）の年齢にあっては、様々な運動や体験に触れることを重視して技術の習得やより効率的にからだを動かすための技能習得が最も重要である。

#### 成長過程と呼び名

- ・キッズエイジ 3歳～5歳 今後への準備期間、6歳～8歳 神経回路成長
- ・ゴールドンエイジ 9歳～12歳 神経系発達完成、13歳～14歳 速筋繊維発達

#### 成長に応じた運動効果

・からだの基本動作習得・バランス・調整力向上・体力向上・けがの予防・将来的な競技力向上・技能向上。

#### ・キッズエイジ（U-4～6）（キッズスクール）

幼児期のからだづくりの基本的動作となる体操やボールを使用した運動を実施し、からだの効果的な動かし方を身につけさせることを目的とする。

#### ・ゴールドンエイジ（U-12）（ジュニアスクール・水泳）

小学生の時期に、より活動的に様々な動きや、日頃体験できないスポーツを子どもたちに多く体験してもらい能力の幅を広げることを目的とする。

事業名	目的・内容	実施時期・回数
スポセンキッズ教室	※平成 27 年度よりくまがしクラブ教室へ移行。	
子ども体づくり支援事業	町内こども園に講師を派遣し、運動指導を実施する。	6 月、11 月
ジュニアアスリート育成事業	小学生を対象とし、競技に必要な反射能力・バランス能力・身体の使い方 のトレーニングを行う。	通年
水泳教室	小学生を対象とし、個々のレベルに合わせて水泳指導する。	8 月
カヌー教室、スキー教室	※平成 25 年度よりくまがしクラブ教室へ移行。	

### 3) 健康体力づくり事業（健康保持増進）

生活習慣病予防や成人の健康保持増進のため、効果的に楽しみや興味を持って参加できる事業を実施する。有酸素運動や筋力運動等の様々なジャンルの運動で参加者の幅を広げる。20代～50代といったミドルエイジ（U-60）をメインターゲットとし、日常生活の中で、体を動かすことが減少してきているミドルエイジが特に注意しなければならない生活習慣病予防を健康体力づくり事業の核としてとらえ、予防とさらなる健康保持増進のため、効果的に楽しみや興味を持って参加できる、また、その他にも多種目の内容を展開することにより、運動することの楽しみを得られるような事業を実施する

事業名	目的・内容	実施時期
ESA&ME（健康体力づくり事業）	※事業見直しに伴い、未実施。	
だれでもかんたん運動教室	平群町健康課の事業「メタボリックシンドローム予防教室（元気にここ教室）」への講師協力を行う。	適宜
スポセンテニススクール	※事業見直しに伴い、未実施。	
こころとからだのリラックスヨガ	平成 27 年度よりくまがしクラブ事業へ移行。	
はつらつノルディックウォーキング教室	平成 25 年度よりくまがしクラブ事業へ移行。	

### 4) 元気 UP 高齢者事業（健康保持増進）

シニアエイジ（O-60）をメインターゲットに「健康長寿 県内一」を目指し、メタボリックシンドローム予防やロコモティブ予防（運動器症候群）に力を入れ、いつまでも自力で元気に日常生活が送れるように、体の機能を維持、向上できるような運動指導、また少しでも状態緩和のため有酸素運動や筋力運動のような体質改善できるような事業を実施し、日常生活活動レベルを上げ、生活範囲と生活機能の向上を目指す。

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ESA&ME（健康体力づくり事業）	※事業見直しに伴い、未実施。	



だれでもかんたん運動教室	平群町包括支援センターの事業「介護教室」への講師協力を行う。	年 22 回
スポセンテニススクール	※事業見直しに伴い、未実施。	
こころとからだのリラックソガ	平成 27 年度よりくまがしクラブ事業へ移行。	
はつらつノルディックウォーキング教室	平成 25 年度よりくまがしクラブ事業へ移行。	

## 2 町有施設（体育/公園体育施設）指定管理事業

上記健康増進の普及及び健康づくりを促進する事業を実施するために、下記の施設の貸し出し業務等や施設管理を行う。

### 管理施設

- ① 平群群健民運動場（管理棟、グラウンド）
- ② 平群町総合スポーツセンター  
（体育館、グラウンド、ウォーターパーク、テニスコート、防災設備）
- ③ 平群中央公園（管理棟、多目的・サブグラウンド、テニスコート、ゲートボール場）
- ④ 平群北公園（管理棟、テニスコート）
- ⑤ 梨本ゲートボール場（ゲートボール場）

### 〔業務内容〕

#### 1) 一般利用及び事業の実施業務（施設の供用に関する利用者支援）

「平群町体育施設条例及び施行規則」、「平群町都市公園条例及び施行規則」に基づき、指定管理者は行政代執行者であることと公共施設の在り方を念頭に置き、当財団が利潤追求に走り、特定の利用者及び団体に偏って施設の貸し出しを行うなど、利用者が不便・不利益を被ることのないよう公平、公正な業務を遂行するとともに、安全で快適な施設づくりレベルの向上を図る。また、平群町体育協会の加盟団体や平群町の公共的団体の大会及び県内外のスポーツ団体の大会実施や総合型地域スポーツクラブ「くまがしクラブ」の教室開催にあたって、柔軟且つ適切な対応、協力や環境整備、備品貸し出し等を行う。

#### 2) 利用許可受付と利用料徴収及びバランスのとれた施設利用調整

施設利用に関しては、利用者の利用申請受付業務を窓口で行うとともに利用料の徴収を行う。また、奈良県と県内市町村において、インターネットを利用してパソコンや携帯電話から、各種申請・届出、講座・イベント申込ができるサービス（電子申請サービス）や公共施設の空き状況の照会や予約申込み、また各施設で開催される講座の申込みができるサービス（施設予約サービス）奈良電子自治体共同運営システム「e 古都なら」を平群町体育施設予約にも導入によって（平成 21 年度導入）、利便性が向上し利用される方も増加している。今後も引き続き、平群町情報処理担当者との意見交換も行い、より利用しやすいシステムの調整を適宜実施する。

また、平群町教育委員会、平群町体育協会の加盟団体、一般利用者との間での施設貸出を円滑に進め、より多くの町民の満足が得られるように施設利用全体のバランスを調整する。

### 3) 「おもてなしの心」あふれるサービスと施設 PR

施設利用者、特に子ども・中高齢者・障がい者が安心して利用できるように、積極的に利用者とのコミュニケーションをとり、要望・意見・健康状態を知り利用者とのコミュニティを大切に対応する。また、潜在的に利用者が持っているニーズを察知し、規則や公平・公正な立場から逸脱することなくニーズにあわせた環境づくりを行う。トレーニング・健康のための運動方法に関する相談も随時、専門知識をもつ従業員が丁寧に指導を行い、利用者の運動継続意欲を高め、地域住民の健康増進に役立てる。また、より多くの町民に施設利用してもらうためにインターネットホームページを開設して情報提供を行うとともに、自主事業やイベントの内容については、インターネットツールと高齢化率が 33%超という地域性から、新聞折込によるチラシの配布や町内各公共施設にポスターを掲示するなど、効率的に利用者拡大を図る。

### 4) 安全な施設維持のための保守点検

定期的に施設の巡回、巡視点検を行い、不具合箇所等を早期に発見に努め可能な限り職員で対応する。施設美観・清潔維持のため、トイレ清掃やフロア清掃を随時実施して、常に清潔さを保ち、週 1 回の休館日には、アリーナの床面のモップ掛け及びモップの交換等、館内全体の清掃を実施する。外観や植栽管理に関しても計画的に作業を行い、周辺環境の調和を目指し、常に美化意識を持った管理を行う。また、施設の安全利用や予防や保全のため、電気設備や浄化槽・プールの設備に関しては、専門業者による定期点検や法定点検を実施する。

#### 〔研修計画〕

従業員の共通理解と利用者への公平性を保つために定期ミーティングを実施する。内容は、各セクションにおける日頃の業務に対してのフィードバック、それに対してのリマインド、正確な情報のシェアリング、また、業務内容の確認や課題、一日のタイムスケジュール等、日々の従業員の動きと利用者状況、問題のチェック等を行う。これにより、窓口や現場での接遇向上や運動器具や作業道具の取扱等について従業員の資質を高める。

#### ミーティング内容

- ①事務関係（料金徴収・施設予約/受付・利用団体認識）
- ②運営関係（業務方針・月間計画）
- ③安全関係（AED 使用講習・人工呼吸・応急手当）
- ④設備関係（体育器具、消防設備）

#### 運動技能研修内容

- ①高齢者に対する運動指導方法
- ②特定健診・保健指導における運動指導

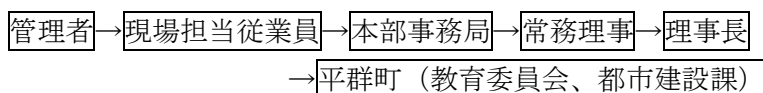
### ③効果的なトレーニング方法の指導法

### ④子どもの身体づくりに関する指導法

〔緊急時の対応〕

#### (1) 防犯に対する態勢

日常は必ず各セクションへ従業員を配置し定期的な巡回を行って防犯、防災に備える。施設利用供用時間外（夜間）については、警備会社へ警備業務を委託する。緊急時（事件、事故）には情報の集約と緊急連絡網により組織内連絡・関係機関への連絡を速やかに行うとともに、利用者の安全確保や応急処置等現場での対応にあたる。すでに館内に AED（自動対外式除細動器）を設置し、初動である第 1 次対応は整備済み。



→警察・消防・救急等関係機関（夜間従業員不在時は、警備会社→職員に連絡）

併せて、日頃より町内の消防や警察の関係機関と連絡連携を密にとり、緊急時の対応をスムーズに行う。平群中央公園、平群北公園は 24 時間開放（駐車スペースは除く）しており、園内は自由に入出りできるため、園内では、なるべく死角をつくらない様な適正な草刈や剪定を行い防犯と景観を兼ねそろえた施設づくりを行う。また、警察や青少年補導委員会の定期巡回とも連携を取り、地域一体となった対策を行う。

#### ・災害に対する態勢

台風接近等による大雨・暴風の被害が予想される悪天候時は、気象・災害情報に細心の注意を払い、利用者の安全確保を第一に考え、施設開放や事業の開催可否を協議において決定する。

・大規模地震等による自然災害時には、スポーツセンターは平群町の緊急避難場所及び防災拠点に指定されているので、平群町の災害対策本部と連携を取り、情報収集すると共に、被災者や災害対策関係者の受け入れに対応し現場での支援・協力を行う。

・緊急時を想定して飲料業者と緊急時に被災者に飲料無料提供の協定を締結し、災害時対応型（ライフラインベンダー）の飲料自動販売機を設置している。

#### (2) その他の緊急事態に対する態勢

その他緊急事態に備え、通常（夜間を除く）は、従業員が常駐し、有事の際は速やかに現場へ駆けつけて、即座に対応する。

・防災備品を専用物置内に入れ常備・常設する。（消費期限があるものは適宜交換）

#### ①総合スポーツセンター（設置場所：体育館 1F 館外北側）

ヘルメット 5 個、軍手 6 双、タオル 10 枚、懐中電灯 3 個、予備電池単 3 形 8 個、笛 1 個、非常用毛布 6 枚、飲料水 520cc×24 本、非常用食料カンパン 1 缶、緊急連絡先一覧 1 枚、地域防災マップ 3 枚、非常用雨具 5 枚、ブルーシート 1 枚、ガスバーナー 1 個、予備燃料木炭 1 ケース、ロープ 1 個、ウエットティッシュ 1 個、トイレットペーパー 9 ロール、ガムテープ 1 個、

食品ラップ 1 本、ゴミ袋 90ℓ 10 枚、救急箱（カット綿・ガーゼ・三角巾・包帯・コットン・サージカルテープ・絆創膏・綿棒・オキシドール・鎮痛剤・胃腸薬・風邪薬・熱さまシート・ハサミ・トゲ抜き・生理用品）

②中央公園（設置場所：管理棟外北側）

ヘルメット 5 個、軍手 6 双、タオル 10 枚、懐中電灯 3 個、予備電池単 3 形 8 個、非常用毛布 3 枚、非常用雨具 5 枚、ブルーシート 1 枚、緊急連絡先一覧 1 枚、地域防災マップ 2 枚、ゴミ袋 90ℓ 10 枚、笛 1 個

③北公園（設置場所：管理棟外西側）

ヘルメット 5 個、軍手 6 双、タオル 10 枚、懐中電灯 3 個、予備電池単 3 形 8 個、非常用毛布 3 枚、非常用雨具 5 枚、ブルーシート 1 枚、緊急連絡先一覧 1 枚、地域防災マップ 2 枚、ゴミ袋 90ℓ 10 枚、笛 1 個

**[業務連携]**

総合スポーツセンター及び中央、北公園の夜間管理及び各施設の施設管理作業（草刈り、清掃等）の一部を「公益社団法人」である平群町シルバー人材センターへ業務委託することで、同センターの業務増加、ひいては平群町在住の高齢者である会員の方々の就労できる場の提供拡充を行い、社会参加に向け積極的に連携を図る。

**■経年劣化による現状**

**【平群町総合スポーツセンター】**

- ・ 体育館 →・アリーナ床面摩耗による滑り
- ・ ウォーターパーク→
  - ・ 幼児用プール槽塗装後の剥離多数
  - ・ 流水プール起流ポンプ配管漏水
  - ・ 流水・25m・着水・子どもプール濾過ポンプ配管漏水
  - ・ プールサイド防滑塩ビシート剥がれ
  - ・ 着水プール床面、地下水による隆起
  - ・ 場内シャッター故障
  - ・ スライダー揚水ポンプ配管漏水
  - ・ 場内監視モニター故障
  - ・ 幼児用プールの遊具及びスライダー使用不可
  - ・ ゲートシャワー使用不可
  - ・ 西側擁壁面の塗装劣化

**【平群北公園】**

- ・ 繁忙期の利用者駐車場の不足

**[減免利用における協力について]**

町のスポーツ振興や、町民の健康増進を目的として実施される事業やスポーツ施設利用に対して住民サービスの一環として施設利用減免を許可される際、補てん等を求めず協力を継続実施

する。

〔利用者サービス・利用促進のための取組み〕

現在、管理運営する体育施設の利用実績において利用率の低い曜日・時間帯の利用率アップを図る。

〔地域貢献への取組み〕

町内中学校が実施する職場体験学習の場として協力を行う。

・「個人参加型プログラム」

個人又は小グループが気軽に利用できるように、定期的に設定した曜日・時間帯のアリーナを分割して貸し出すプログラム。

・「利用率アップキャンペーン」

ランダムに設定した曜日・時間帯を利用予約された際に、くまがしステーションで利用できる「クーポン券」を発行する。

## II 地域文化の振興を促進する事業（公益目的事業2）

地域住民参加型で創意工夫しながら、平群町の活性化や文化振興を目的としながら下記の事業を展開する。

### 1 事業計画

事業名	目的・内容	実施時期
へぐり盆踊り	地域の文化として根ざした特有の「平群夢音頭」の普及を目指すものであり、管理施設である健民運動場を会場とし開催する。平群町を含めた各種関係団体で実行委員会を構成し、当財団は運営事務局を担当する。内容は、町内の子どもで構成されたチームによるダンスショー、ビンゴゲーム、子ども盆踊り、地元の方やプロの音頭とりによる盆踊りを実施する。	8月
平群町観月祭	平成26年度よりくまがし事業（秋祭り）に変更。	
へぐりふれあいアート	総合スポーツセンターやくまがしステーションのスペース活用として、1F多目的スペース等に絵画、写真等を展示し、来館者に鑑賞してもらい知識や情緒を高めることを目的とし実施する。	通年

### Ⅲ 農業の健全な発展及び地域資源の合理的な利用を推進する事業（公益目的事業3）

〔施設の現状に対する認識及び今後の在り方〕

くまがしステーションは、平群町に南方面から訪れる際、玄関口にあたるメインスポットである。また、大阪市内から最も近い「道の駅」であり、車で大阪中心部から30分、奈良市内からも20分で到着できる。また、人口12万人の生駒市と隣接し、町内を縦貫する平群バイパスで結ばれていることから「人口集積」が見込める非常に恵まれた環境であることから当ステーションには年間約40万人の方が訪れており、この来場者の一人でも多くの方に平群町の農産物、特産物のPR並びに平群町の農業を軸とした観光・歴史・文化を発見していただけるよう行政と協働し地域情報発信を行っている。また、公共施設として、施設貸出を含めた施設の使用に際し、使用者・利用者の公平・公正・平等な利用を心掛けている。

今後のくまがしステーションの在り方として、引き続き設立当初からこだわり続けている『平群町内農産物直売所（とれたて市）』のコンセプトである「安心・安全・新鮮・おいしい」をより一層PRし、「へぐりらしさ」「くまがしらしさ」を強調することで個性を出し、利便性の向上も図りながら柔軟に対応できる売り場づくりを行い、差別化を図り安定した運営基盤の構築を目指すことである。また、“くまがしステーション”ひいては“へぐり”を地域住民の皆様と協働し魅力あるまちづくりを目指す。

#### 1 事業計画

##### 1) とれたて市

・「生産者の会」と、とれたて市部分の運営委託契約を結び運営を行っている。農産物等の品質安定、向上や日常運営状況のチェックを図るため、定例の「生産者の会例月役員会議」を開催した。

・「安心・安全・新鮮・おいしい」をコンセプトに品質の安定・向上を徹底的に探求し続け、生産者と積極的にコミュニケーションを図り売り場の活性化を図る。

・お盆・お彼岸・年末の繁忙期は、一時に集中する混雑緩和のため通常営業開始時間より早く営業を開始する。

・「平群特産品開発事業」を町と協働して進める。町内の遊休農地を活用した農産物も有効活用し、平群町のプライベートブランドの商品化を目指す。

・奈良県と協働する農産物直売所として「奈良県農産物直売所協働協定」を締結。（平成21年度）また、協定締結とあわせて、協定直売所のネットワーク「地産認匠 TEAM 奈良」を結成し、ネットワークブランド「地の味 土の香」が立ち上がっている。

（安全性の強化：トレーサビリティの強化）

生産者に出荷農産物の栽培履歴提出の協力を積極的に求め続け、栽培履歴の提出義務化（トレーサビリティの強化）に向けた、より具体的な指導を実施する。

（品質安定及び向上）

・とれたて市内に専門員を配置し、利用者に商品情報・出荷時期等の質問に対して迅速・丁寧

な対応、また生産者には出荷当日における追加納品の声掛けや品質や価格に対する指導等を行う。

- ・出荷された農産物・花卉の品質チェックを開店前・営業時間中、徹底的に行い、品質の悪いものについては即時に売り場から排除したうえで出荷生産者に厳重注意・指導し、再発の抑制を行い、改善されない生産者に対しては「出荷停止」又は「除名」を生産者の会で決定し、処分を行い、品質の保持に努める。

- ・生産者の会主導で生産者向けの「品質向上講習会」を適宜開催し生産者自らの生産農産物・花卉の品質安定を図る。

(出荷量安定、品目の充実)

- ・システム導入により出荷農産物の種類・量を管理し、当日出荷されている生産者に売上額、売上数量をリアルタイムでメールを配信している。また、とれたて市全体の月毎売上データ(品目別、数量等)を生産者に提供する。

(コストパフォーマンスの安定化)

お客様に納得して購入していただけるリーズナブルな価格設定で販売する。また、加工品をはじめとした商品の付加価値(コンセプトや地元らしさ)を積極的にお客様に伝えていくことで、より高い満足度を得ていただける環境を構築する。

(接客・接遇の強化)

アンケートボックスを設置し、日頃からお客様の声を形に変える仕組みを構築する。従業員の接遇研修を計画的に実施し、思いやりのある接客・接遇でリピーターの獲得、集客数UPを目指す。

(販売演出)

- ・生産者の会との共催イベントを積極的に開催し、お客様と生産者のふれあいイベントの企画や生産者の顔写真の掲示などを行い、顔が見える安心・安全な売り場づくりを行う。

- ・“旬”の野菜を使ったこだわり料理の試食コーナーを常設化する。(週末限定)

- ・“旬”のコーナーの設置を中心に町内地域別、種類別で陳列し、お客様が手に取りやすく、農産物を見るだけで季節の移ろいを感じられる演出陳列を行う。

- ・清掃の行き届いた清潔感のある陳列による売り場づくりを行う。

## 事業一覧

事業名	内容	実施時期
収穫体験	町内で作付けされた農産物の収穫体験を季節に応じて実施する。	9月
生産者栽培地作業体験ツアー	生産者の農産物栽培地をめぐり地元農産物に触れて体験し、実際に知っていただくことで農業の振興と発展を図るとともに、農業の町・平群ののどかな田園風景も楽しんでもらう。	秋季
くまがし講座	地域での活動を推奨し、地域性を身近に感じてもらう日	通年

	常的に来場してもらうことを目的とし実施する。	
道の駅タイヤアップイベント事業	他府県の道の駅等とのタイヤアップイベントを開催し、相互連携で農業の振興として特産物販売などにより活性を図ることを目的とし実施する。	年 1 回
いちご狩り	平群町特産のいちごの PR として、とれたて市登録生産者のビニールハウスにて開催する。	2 月～5 月
ゴールデンウィークイベント	期間中、来場者に PB 商品の PR 販売等を実施する。	5 月
ぶどうフェア	平群特産のぶどうの試食販売と先着 200 名（小学生以下）にデラウェアのプレゼントを実施する。	6 月
メロンフェア	※近年栽培量減のため未実施。	
海の日&親子の日フェア	来場者へ PB 商品の PR 販売等を実施する。	7 月
すいかまつり	※近年栽培量減のため未実施。	
くまがし創業祭	日ごろの感謝の意を込め、お客様への還元を目的に、平群町産野菜の詰め放題、PB 商品のプレゼント等を実施する。また、夏休み中のお子様もターゲットにした、お客様参加型のイベントを実施する。	8 月
彼岸フェア	夏秋季の小菊生産量日本一の町として、花の需要期であるこの時期に、より多くのお客様を迎えることを目的にPB商品を中心とした PR 販売を実施する。	9 月
へぐり秋の収穫祭	地域の農業振興及び地産地消 PR、地域住民の親睦交流を目的に、平群中央公民館をメイン会場に、品評会、絵画展、模擬店、家庭菜園相談コーナー、各種教室の内容で開催され、当財団はメイン会場での模擬店ブース出店、サブ会場のくまがしステーションでお客様へしし汁と新米の振る舞いを実施する。	11 月
クリスマスイベント	クリスマス関連商品の即売会等を実施する。	12 月
新春季節特産品フェア	新年の喜びをお客様と共有し、振る舞いや福袋の販売などで年始のおもてなしを実施する。	1 月
バレンタインフェア	バレンタイン関連商品の即売会等を実施する。	2 月
イチゴフェア	平群町特産のいちごの PR 即売と、いちごを使用した加工品の販売を実施する。	4 月
プライベートブランド商品創作	地産地消を目的として、地元で収穫された食材を利用したプライベートブランドの商品を創作する。	通年
週末ふるまい	生産者の会と協働し、季節のとれたて市の農産物の PR を	適宜



	兼ね、ふるまいを実施する。	
--	---------------	--

## 2) 特産品コーナー

利潤追求だけにとらわれず、地域団体の活性化や地域商業団体、小売店の発展に協力・連携する売り場づくりを行う。

(地域団体、町内業者との共存)

・地域団体、町内業者の活性及び育成を図るため、売店商品の仕入れやPR特設コーナーの設置などを積極的に行う。福祉作業所の「特定非営利活動法人 大空の家」を中心とした福祉作業所のPR及び商品販売コーナーを設置済。「信貴山」コーナー等もさらなる充実を行う。

(プライベート商品)

・平群町で採れる農産物を使用した平群町開発商品並びにくまがしプライベート商品と奈良県でブランド力のある特産品を中心とした厳選商品のラインアップと特設コーナーの設置を行いPR販売及び生産量の安定を図る。

- ・日本酒「平群」大吟醸、純米酒【平群産ヒノヒカリを使用】
- ・里の恵（芋焼酎）【遊休農地解消モデル事業で栽培したサツマイモを使用】
- ・幸福の梅酒（梅酒）【平群町内の休眠耕作地で採れた梅を使用】
- ・漬物（たくあん）【遊休農地解消モデル事業で栽培した大根を使用】
- ・てづくりみそ【上庄加工部会に製造を依頼しブランド化に成功】
- ・おかずみそ【同様】
- ・こうじ浅漬けの素【同様】
- ・梅干し【平群町内の休眠耕作地で採れた梅を使用し上庄加工部会が製造】
- ・左近くん長屋くんまんじゅう【平群町イメージキャラクター「左近くん、長屋くん」のPRとして「第一回へぐり時代祭り」の開催に合わせて商品化】
- ・焼酎（里の恵）ケーキ【里の恵（芋焼酎）を材料に使用】
- ・古都華ジャム【くまがしステーションで大人気のいちご「古都華」を使用】
- ・ゆずジャム【平群町内産のゆずを使用】
- ・乾燥野菜・果物（ドライベジタブル）【平群町（奈良県産）の農産物をふんだんに使用】
- ・みそ汁の具（にんじん、しいたけ、たまねぎ、※ごぼう、なすび、白菜、菜花、小松菜を季節別に替える）

(接客・接遇の強化)

アンケートボックスを設置し、日頃からお客様の声を形に変える仕組みを構築する。従業員の接遇研修を実施し、思いやりのある接客・接遇でリピーターの獲得、集客数UPを目指す。

(販売演出)

・お客様に愛着を持ってもらうために、地域団体や町内業者との共催イベントを開催し、お客様と生産者のふれあいイベントを企画し実施する。

・“旬”のコーナー設置を中心に種類別で陳列し、お客様が手に取りやすく商品を見るだけで季節の移ろいを感じられる演出陳列を行う。

- ・清掃の行き届いた清潔感のある陳列による売り場づくりを行う。

### 3) レストラン・できたて工房

(品質安定及び向上)

材料には旬の平群産（奈良県産）の野菜をふんだんに使用し、手づくりで温もりのある老若男女が楽しめるメニューづくり（ランチ）を行う。

(幅広いターゲットの獲得)

地元で愛されるお店づくりを目指し、特に平日の集客数 UP を目指す。

(地域活動団体への協力)

地域団体の活動拠点としての利便性の向上を図るため、各団体で開催されている「総会」、「会合」、「研修」を当施設の研修室等での開催利用の促進を図る。

(接客・接遇の強化)

アンケート用紙を設置し、日頃からお客様の声を形に変える仕組みを構築する。リピーターの獲得、集客数 UP を目指し、「一生懸命さ」がお客様に伝わるような接客を目指し、店舗すべての分野が連動し協調できる雰囲気を作る。

[イベント等への協力]

- ・平成 22 年より実行委員会形式で運営する「へぐり時代まつり」に事務局として協働参加し、前日からの駐車場封鎖や模擬店出店、当日の現場管理、警備員費用の一部負担等の協力を行う。
- ・町内団体等が実施する平群町平和委員会署名/募金活動、赤い羽根募金活動に伴う活動場所の提供の協力を行う。

- ・平成 13 年より実行委員会形式で運営する「へぐり秋の収穫祭」に実行委員として参加。メイン会場である中央公民館での模擬店の参加とサブ会場のくまがしステーションで、しし汁、新米の振る舞いの協力を行う。

## 2 町有施設（活性化センター）指定管理及び道の駅施設受託管理事業

- ・町有施設（活性化センター）指定管理事業

農業の健全な発展及び地域資源の合理的な利用を推進する事業を実施するために、平群町より指定管理を受けた活性化センター（くまがしステーション）の研修室及び料理実習室の利用貸し出し、維持管理業務等を行う。

- ・道の駅施設受託管理事業

農業の健全な発展及び地域資源の合理的な利用を推進する事業を実施するために、平群町より受託した「道の駅大和路へぐり」の管理業務を行う。

〔施設の利用許可、料金に関する業務〕

「平群町活性化センターの設置及び管理に関する条例/施行規則」に基づき、利用者の公平・公正・平等な利用を確保し、丁寧かつ迅速な対応で業務を行う。

〔施設の管理に関する業務〕

- ・管理責任者及び防火管理者を配置し、火災等の事故防止に努める。法令消防設備点検を毎年実施し、消防訓練実施計画書と共に消防署に報告を行うと同時に訓練を実施し、平群町地域防災計画において「避難所」に指定されていることから緊急時の対応を整備する。
- ・施設から発生する廃棄物やゴミの減量化及び分別を確実にを行い再資源化を図る。

〔施設及び設備の維持管理に関する業務〕

館内外の清掃は毎日、定時及び適宜実施し、除草や植栽などの手入れについては季節、状況を考慮し定期的に実施する。機械設備については、業者による保守点検と従業員が日々チェックを行う。

〔地域貢献への取組み〕

町内中学校が実施する職場体験学習の場として協力を行う。

〔研修室、料理実習室〕

- ・地域住民、団体の一人でも多くの方々に当ステーションで活動してもらえるように、ホームページ等を利用し利用促進 PR を行い、総会、研修活動、その他の会合拠点としての利用率の向上を図る。
- ・自主事業のくまがし教室を開催する。

〔付帯施設の管理〕

○道の駅（トイレ部分）

- ・お客様に気持ち良く利用できるよう毎日、営業時間前・営業時間中に従業員で清掃を行う。
- ・ドライバーの休憩スポットとしての役割を果たすため、建物沿いに飲料水の自動販売機を設置する。

○第1・2駐車場

- ・お客様に気持ち良く来場していただけるように毎日、営業時間前・営業時間中に従業員でゴミ拾いとその他不備がないようにチェックを行う。
- ・特に週末の午前中や年末年始などの繁盛期には警備員を配置し、来場者の平群バイパスからの入退場及び駐車場内の誘導で安全確保に努める。
- ・当該施設利用目的外の駐車や夜間の不審車両の駐停車排除を県土木事務所、警察、平群町と連携をとり、適宜対応する。

〔情報発信コーナー〕

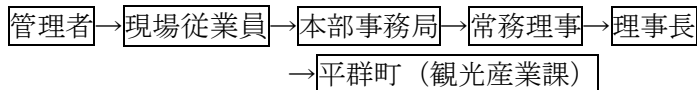
「へぐり」の魅力を一人でも多くの方に知っていただくため、平群町観光産業課と密な連携をとり、くまがしステーション 1F 西側に設置の「情報発信コーナー」を最大限活用し、最新の地域情報や交通情報など、ドライバーを含めた来場者に提供する。

また、平群町の歴史・観光をガイドされている「平群町観光ボランティアガイドの会」の活動拠点に沢山の観光客が訪れるくまがしステーションを提供し協力を行う。ガイドの方々と共に観光客への「平群町」の PR を積極的に行う。また、従業員においてはボランティアガイドの方々から日々学び、研修も交えながら今以上に地域の観光・歴史の情報を説明できるよう能力及び資質の向上を図る。

〔緊急時の対応〕

(1) 防犯に対する態勢

日常は各セクションへ従業員を配置し定期的な巡回を行って防犯、防災に備える。施設利用供用時間外（夜間）については、警備会社へ警備業務を委託する。緊急時（事件、事故）には情報の集約と緊急連絡網により組織内連絡・関係機関への連絡を速やかに行うとともに、利用者の安全確保や応急処置等現場での対応にあたる。館内に AED（自動対外式除細動器）を設置し、初動である第 1 次対応は整備済み。



→警察・消防・救急等関係機関（夜間従業員不在時は、警備会社→職員に連絡）

併せて、日頃より町内の消防や警察の関係機関と連絡連携を密にとり、緊急時の対応をスムーズに行う。駐車場は 24 時間開放しており、自由に出入りできるため、なるべく死角をつくらぬ様な適正な草刈や剪定を行い防犯と景観を兼ねそろえた施設づくりを行う。また、警察や青少年補導委員会の定期巡回とも連携を取り、地域一体となった対策を行う。

・災害に対する態勢

台風接近等による大雨・暴風の被害が予想される悪天候時は、気象・災害情報に細心の注意を払い、利用者の安全確保を第一に考え、施設開放や事業の開催可否を協議において決定する。

・大規模地震等による自然災害時には、活性化センターは平群町の緊急避難場所及び防災拠点に指定されているので、平群町の災害対策本部と連携をとり、情報収集すると共に、被災者や災害対策関係者の受け入れに対応し現場での支援・協力を行う。

(2) その他の緊急事態に対する態勢

その他緊急事態に備え、通常（夜間を除く）は、従業員が常駐し、有事の際は速やかに現場へ駆けつけて、即座に対応する。

・防災備品を専用物置内に入れ常備・常設する。（消費期限があるものは適宜交換）

① くまがしステーション（設置場所：1F 倉庫）

ヘルメット 5 個、軍手 6 双、タオル 10 枚、懐中電灯 3 個、予備電池単 3 形 8 個、笛 1 個、非常用毛布 6 枚、飲料水 520cc×24 本、非常用食料カンパン 1 缶、緊急連絡先一覧 1 枚、地域防災マップ 3 枚、非常用雨具 5 枚、ブルーシート 1 枚、ガスバーナー 1 個、予備燃料木炭 1 ケース、ロープ 1 個、ウエットティッシュ 1 個、トイレトペーパー 9 ロール、ガムテープ 1 個、食品ラップ 1 本、ゴミ袋 90ℓ 10 枚、救急箱（カット綿・ガーゼ・三角巾・包帯・コットン・サージカルテープ・絆創膏・綿棒・オキシドール・鎮痛剤・胃腸薬・風邪薬・熱さまシート・ハサミ・トゲ抜き・生理用品）

IV スポーツ施設及び農業発展施設並びに地域資源の合理的な利用促進施設を管理運営するために生じる関連物品の販売（収益等事業 1）

事業内容

1) ウォーターパーク売店事業

ウォーターパーク開場期間中、プールサイドの売店にて水中遊具や飲食物等の販売を行う。

2) くまがしステーション売店事業

くまがしステーションの館内において、農業発展などの物品以外の一般的なお土産品や町内外の手づくりの品、嗜好品の販売を行う。

その他

・自販機設置販売

総合スポーツセンター、中央公園、北公園、健民グラウンド、くまがしステーションで飲料等自動販売機設置販売を行う。

・くまがしステーションで、切手類、平群町指定ゴミ袋の販売を行う。

・総合スポーツセンター、くまがしステーションで、コミュニティバスの回数券、フリー乗車券の販売を行う。

事業一覧

事業名	内容	実施時期
さくらまつり	平群町文化協会と連携し、琴の演奏とお茶席を実施する。	4 月
母の日プレゼント	母の日ギフトの販売を行う。	5 月
父の日イベント	父の日ギフトの販売を行う。	6 月
秋まつり（観月祭）	平群町文化協会との連携によるお茶席を実施する。	9 月
敬老の日イベント	敬老の日ギフトの販売を行う。当日 65 歳以上の先着 100 名にお団子プレゼントを行う。	9 月
ハロウィンイベント	店内装飾を中心にお子様向けのプレゼント企画やハロウィンにちなんだ特別商品の販売等	10 月

	を実施する。	
節分の日イベント	つきたて餅のふるまい及び節分豆の配布を行う。	2月
フリーマーケットの開催	2階研修室・1階フロア等に於いて、フリーマーケットの開催を行う。	適宜
作品展・発表会	くまがしステーション 1階ホールにおいて町内及び町外の団体による作品展及び発表会の開催を行う。(木目込人形作品展・ウクレレ発表会・フリーマーケット等)	適宜

・その他

〔情報の公開を行うための措置〕

公益財団法人平群町地域振興センターが町政と密接な連携を図りつつ事業活動を推進していることから、当財団が保有する文書の公開に関し必要な事項を定めることにより、町民に対し当財団の透明性を高め、当財団の活動に対する町民の理解と信頼を深めるとともに、より一層開かれた財団運営の実現を図り、「公益財団法人平群町地域振興センター情報公開規程」に基づき、運用する。

〔個人情報保護するための措置〕

公益財団法人平群町地域振興センターが、平群町個人情報保護条例（平成13年平群町条例第20号）の趣旨にのっとり、財団が保有する個人情報の取扱いに関する基本的な事項を定めることにより、個人の権利利益を保護する。

「公益財団法人平群町地域振興センター個人情報保護規程」に基づき、運用する。

〔経費節減のための方策〕

1) 人件費

サービスを縮小させないよう配慮したうえでムダを省き、適切な定員管理を行う。

2) 備品、消耗品費

費目ごとに在庫及び支出管理を行い、計画的な購入を行う。

3) 外注費

外注費の価格算定根拠を明確にしたうえで、発注先の選定を行い複数年契約等を駆使し経費削減を図る。

4) 光熱水料費

季節毎の適切な室温の設定、貸室など使用していない部屋は、電灯及び空調の電源を確実に切る等の「ムダ」を徹底排除する。